

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	呼吸停止下の拡散強調像を用いた肝腫瘍の描出能に関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2026年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科で腹部 EOB 造影 MRI 検査を受けられた肝腫瘍の患者さん		
④ 対象期間	2021年4月1日 から 2022年10月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一内科、第一外科、第二外科、放射線科		
⑦ 研究責任者	氏名	田辺昌寛	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、現病歴、既往歴、診断名、病理結果（ある症例のみ収集）、MRI 画像		
⑨ 研究の概要	<p>MRIの拡散強調像（diffusion weighted imaging: DWI）は分子の拡散運動を画像化できる撮像方法で、分子の拡散能が低下している悪性腫瘍においては正常の臓器に比べて高信号に描出されます。腹部領域でも腫瘍の検出や悪性度推定などに広く用いられますが、データを収集する時間が長いと横隔膜同期（横隔膜の動きをモニタリングして、同じ位置の信号のみを収集する方法）で行われることが多いです。しかし、この方法では不整な呼吸の場合に画像の歪みや病変の信号低下を来す場合があります。</p> <p>撮像技術の進歩に伴い、1回の呼吸停止下の撮像でも比較的良好な画質の拡散強調像が撮像できるようになりました。近年の技術を用いた呼吸停止の拡散強調像を、従来の横隔膜同期の拡散強調像と比較した報告は少ないです。</p> <p>本研究の目的は、肝腫瘍において呼吸停止の拡散強調像と横隔膜同期の拡散強調像を比較し、描出能を検討することです。病変の有無は、腹部EOB造影MRI検査の肝細胞相を基準として判定します。EOB造影MRIとは、側鎖に脂溶性を示すエトキシベンジル基（EOB: ethoxybenzyl）が導入されている造影剤を用いたMRI検査のことです。呼吸が不規則な患者さんにおいて、呼吸停止の拡散強調像はより鮮明に肝腫瘍を描出できる可能性があり、診断能の向上や検査時間の短縮にもつながると考えられます。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2022年12月26日	

	えられます。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	年	月	日
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田辺昌寛			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285